

令和8年7月29日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第4回 (7/29号)

水稻病虫害発生予察の結果について

①生育状況

7月に入り気温が上がったことで昨年と同じペースで生育が進んでいます。予察圃場では幼穂の形成が確認されており【韮山地区1～2mm】【大仁地区5mm～8mm】確認されました。下記の【幼穂長と出穂前日数の目安】を参考にいただき、幼穂の生育から出穂時期を予測し、穂肥等の管理作業時期の目安にしましょう。
田原野地区、浮橋地区では開花期に入っていました。この時期は、水分を最も必要とする時期となりますので、水を切らさないよう十分な水量を確保しましょう。

②病虫害状況

今回の調査では、ヨコバイ、夏ウンカの発生が確認されましたが、防除が必要となる発生量ではありませんでした。
これから出穂期に入ってきて、カメムシの被害が増えてくることが予想されます。カメムシによる斑点米はお米の等級を下げる原因になってしまいます。ご自身の圃場の出穂期を確認いただき、薬剤での防除をご検討ください。

【幼穂長と出穂前日数の目安】

出穂前日数	幼穂長
30日	0.2mm
25日	1.5mm
20日	5.0mm

出穂前日数	幼穂長
18日	1.0cm
15日	2.5cm
12日	8.0cm

○全農 化成肥料 17-0-17を施用する場合

1回目 出穂20日前 10kg/10a 2回目 出穂10日前 10kg/10a

○I B 4号を施用する場合

出穂20日前 20kg/10a

※ナイスワンパワー等の一発肥料を施用した方は、基本的には穂肥の必要はございません。

○カメムシ防除

スタークル粒剤 3kg/10a 価格3900円/3kg

○お米の出穂前から出穂期を目安に防除をお願いします。

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆のホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。